

南小だより



令和3年9月13日
亀山市立亀山南小学校

No.11

緊急事態宣言が発令している中でしたが、9月6日に2学期始業式を行いました。感染防止のため、会議室からオンライン配信で各教室と結んで行いました。今はみんなの力を合わせて、感染防止に最大限努力していこう、そして、心は密にしてお互い支えあっていこうと伝えました。たいへん困難な状況ですが、こんな時こそ、学校の力が問われていると思います。感染予防に努めつつ、できることを工夫して取り組んでいきます。保護者・地域の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



*オンライン同時配信授業実施中

亀山南小の学力の強みと弱み

6年生は、「全国学力・学習状況調査」、4、5年生は「みえスタディチェック」の学力調査を行いました。国語、算数、理科（5年生のみ）の3教科の調査があり、どの子も真剣に取り組んでいました。6年生の児童質問紙の回答によると、学習・生活習慣の定着が見られ、学習意欲も高い傾向が見られました。

また、調査結果から次のような強みと弱みがわかりました。

（数値は、6年は全国平均と4、5年は県平均との比較です）

強み

- ・20名足らずの少人数の良さを生かした指導により、基礎基本の学力に定着が見られます。
- ・ねばり強く問題に取り組む姿勢が見られます。（無回答率が低い）



（国語）

- ・漢字や文のきまりなどは身につけている。
漢字の読み書き【6年+8.2% 5年+12.1%】
主語を選択する【6年+22.5% 5年+11.1%】
修飾語を選択する【4年+13.1%】
- ・文章をまとめて要約できる。【6年+7.5%】
- ・指定の文字数で答えることができる。【4年+12.7% 5年+48.5%】

（算数）

- ・計算や図形など基本的な事柄を理解している。
速さ、時間、道のりを求める【6年+11.8%】
180度以上の角の大きさを求める【5年+20.5%】
四捨五入して概数を求める【5年+15.1%】
正しく計算する。【4年+20% 5年+7.4%】
- ・言葉や数、式を使って説明する。【5年+42% 4年+12.5%】

（理科）*5年のみ

- ・用語や観察方法を問う問題の正答率が高い。【5年+13.9%】

弱み

(国語)

- ・ローマ字を正確に書く力が弱い。【4年-3%】
- ・文章の構成を読み取る問題が弱い【6年-9.1%】

(算数)

- ・グラフの読み取り問題が弱い。【6年-1.1%】
- ・必要な情報を取捨選択して面積を求める問題が弱い。【6年-23.5%】
- ・何倍かを求める式を書く問題が弱い。【4年-28%】
- ・問題の状況を具体的に理解できていない。【6年-4.1%】

(理科) *5年のみ

- ・予想と実験結果の組み合わせで適切なものを選ぶ問題が弱い。【5年-11.2%】
- ・1日の気温の変化に関わる理解が弱い。【5年-1.5%】

・漢字及びローマ字、計算などの反復練習が必要です。
・情報を取捨選択して活用する力を養う必要があります。



学力向上をめざして

言語活動の充実

- ・ペアやグループ学習を取り入れ、対話のある授業づくり
- ・理由や根拠をはっきりさせて、自分の考えが書けるように指導する。

コロナ禍なので、ICT機器の活用とも合わせて取り組んでいく。

補充学習の充実した指導や支援

- ・チャレンジタイムや宿題を活用し、基礎基本の力を繰り返しつける。
- ・自主学習ノートの取り組みの継続し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。
- ・少人数を生かし、一人ひとりの実態に合った指導支援をする。
- ・読書指導にも引き続き努める。

学習した後、期間を置いてから再度復習させ定着を図る。

全国学調・みえスタ問題を繰り返し学習する

- ・出題された問題は良問で何度も繰り返し学習する意義がある。
- 三重の学 viva セットと合わせ反復学習を図る。

児童質問紙の回答で、授業における ICT 機器の活用度合いが低かった。

1人1台端末の効果的な活用

- ・eライブラリーなどの学習ソフトを使い繰り返し学習する。



これからも教師が①子供の名前を呼ぶ②教室の中に「ありがとう」を増やす。取り組みを継続し、土台となる『安心して学べる環境づくり』に努めます。
ご家庭でもお子さんの学習のようすを見守っていただき、毎日の学習習慣の定着に向けてご協力ください。